

進路だより 第3号

令和4年6月15日

愛媛県立北宇和高等学校

1年生の皆さんは、北宇和高校の生活に慣れてきましたか？友人もできて楽しい学校生活を送れていますか？月末に迫ってきている期末考査。試験範囲も広がってくることでしょう。日々の授業を大切に、一日でも早く考査の勉強に取り掛かりましょう。

さて、2年生の皆さんは、自分の進路を見つめようとしていますか。1年生の頃は学校生活に慣れるのが精いっぱいだったと思いますが、次は具体的な進路について考えていきましょう。

3年生の皆さんは進路実現のための期末考査です。今回の成績は3年生としての成績に大きな影響を与えるテストです。大学進学、奨学金、特待生制度、就職試験など自分にとって有利な状況を作ることができるよう、考査に向けて頑張っていきましょう。

また、3年生は期末考査だけでなく、進学課外や就職活動に向けた就職課外もスタートしました。今月号では、就職活動支援員の大野孝先生から、皆さんへのメッセージをいただきました。

就職への心構え「後輩にタスキを！」

就職活動支援員 大野 孝

3年生の就職希望の皆さんは、入社試験が始まる9月16日まで、残すところあと3か月余りとなりましたが、就職活動は順調ですか？これまでは、学業と部活動の両立に取り組んできたことと思いますが、これからは、「就職活動」を加えた、「三本柱」で学校生活を送っていくことになります。コロナ禍就職も今年で3年目となり、企業の求人については、やや復活傾向にあるものの、世の中全体の動向は、コロナ対策等の不安定な状況に、ロシアのウクライナ侵攻による世界経済への影響が入り混じり、先行きが不透明な状況になっています。どこの会社もコロナ禍経済の復興に向けて予断を許さない状態が続いており、緊張感漂う厳しい職場環境となっています。

先日、今春の卒業生が就職した会社の人事課長から、「先輩や上司が仕事を教えても集中力が欠けており、時間をかけて教えたこともすぐに忘れてしまい、仕事に対しての意欲や緊張感がなさすぎる。」との厳しいお叱りを受け、後日、配置換えにより対処したとの報告を受けました。その会社では前年度も皆さんの先輩が早期離職（一般的に3年以内に仕事を辞めること。）をしてしまい、御迷惑をお掛けしていたので、相次ぐ難題にただただ謝罪するのみでした。

早期離職は卒業した生徒が初めて経験する挫折であり、企業側と学校側の双方が大きなダメージを受けます。特に、採用にかかる経費的な問題や後補充等の人事的問題で多大な迷惑をかけ、翌年は求人が来なくなることもあります。離職理由は人それぞれですが、主なものは、就職活動をおろそかにし、安易に仕事を選んだことによる不適合（ミスマッチ）や、コミュニケーション不全が原因となる人間関係と俸給や労働条件等です。ちなみに、コロナの直撃を受けた令和2年度の卒業生の離職者は、一年間で37名中、9名で、離職率は23.1%になり、直近の3か年で最も高い数値となりました。

進路決定の分岐点で、就職を選んだ人は、これまでの学生の立場から、働いてお給料をもらう社会人の立場に変わるわけですから、誰でも働くことを真面目に考えなければなりません。独り立ちし、社会人の一員として、大人の仲間入りをする「自覚」と「責任」が必要となります。

色々な問題があっても、会社が連年、生徒を採用していただくのは、今も卒業生の先輩たちが離職することなく一生懸命頑張ってくれているからであり、その結果、企業側と学校側の間に強い信用・信頼関係が築かれているからです。学校長推薦で就職できることの有難さを肝に銘じて、北宇和の伝統と先輩たちの汗と涙がしみ込んだタスキを後輩たちにしっかりと繋いでほしいと思います。

Column【エビングハウスの忘却曲線と復習の仕方】

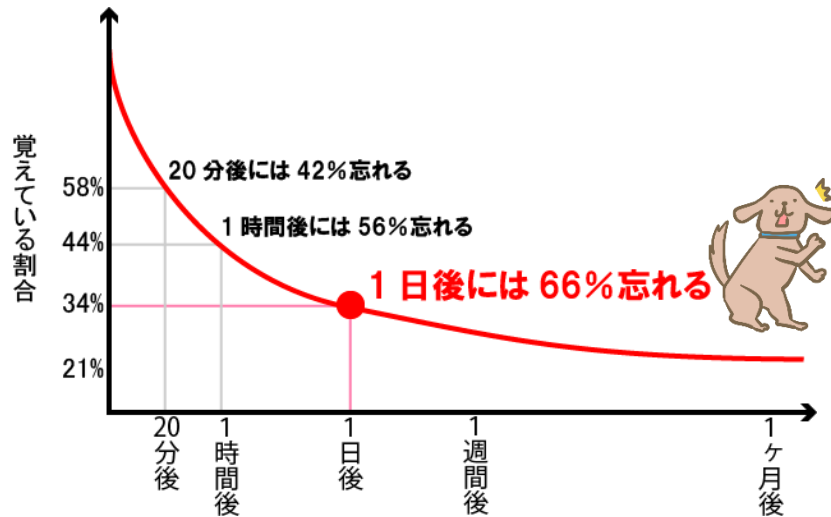
ドイツの心理学者ヘルマン・エビングハウスが行った記憶に関する実験で分かった人間の脳の「忘れる仕組み」を曲線で表したグラフをエビングハウスの忘却曲線といいます。

では、記憶はどれくらいのスピードで忘れられていくのか見てみましょう。

「20 分後：覚えた内容の 42%を忘れ、58%を保持していた。」

「1 時間後：覚えた内容の 56%を忘れ、44%を保持していた。」

「1 日後：覚えた内容の 74%を忘れ、26 パーセントを保持していた。」



エビングハウスの忘却曲線

この結果からも分かるように「人間の脳の構造上、忘れることは当たり前のことである」ということです。何時間も使って、頑張っても翌日にはほとんどを忘れていて、ということです。効率的な暗記は復習のタイミングが最重要なのです。適切なタイミングで復習をすれば、記憶の忘却のスピードは緩やかになり、結果としてすぐに忘れてしまう短期記憶から、時間がたっても忘れない、長期記憶に移行していくのです。

では、適切な復習のタイミングとはいつなのでしょう。それは勉強をしたその日と翌日です。暗記をして10分程度後にまず復習。そして寝る前と起きた後にも復習をすることです。さらに、効果的なのは「1日後、4日後、7日後、15日後、20日後」です。テスト勉強の参考にして、より効率的な暗記ができるようにしてみてくださいね。

記憶の効率を上げるために実践すべきことがもう一つあります。それは、「学習をした後、ゲームをしたりテレビを見たりしないこと。」です。暗記物の勉強は寝る直前にすることで定着がしやすくなります。せっかく勉強をしてもその直後にゲームやテレビをはさんでしまうと、台無しになってしまいかねないので気を付けましょう。効率の良い勉強方法を見つけて、限りある時間を有効活用してくださいね。